

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和8年2月28日

事業所名 キッズルーム キャロット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			敷居を設けることで、場面に応じた空間の切り替えが出来ている。	敷居による区切りが利用者にとって直感的に理解しやすい工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			PDCAサイクルに基づき、支援会議には多職種が参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修委員会を設置。外部研修参加者による伝達研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			多面的なアセスメントを行い、職員間で共有・検討することで利用者と保護者のニーズを反映した計画作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			振替休日や長期休みには、チームで事前協議しプログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			チームで意見を出し合うことで活動プログラムが固定化しないよう努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			定期的な実施は難しいものの、計画書の見直し時に内容の擦り合わせを行い、利用者に合わせた課題を提示している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援開始前にミーティングを実施して役割は固定せず、支援内容や利用者の特性を共有し確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		緊急時は速やかに共有し、原則翌日のミーティングで情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援項目に沿って必ず記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○					
関係機関や 保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	22		○		現在、医療的ケアが必要な児童が利用していないが相談を随時受け付ける体制は整えている。	
	23	○				
	24	○				
	25	○				
	26			○	直接的な交流の機会はなく、公園や公民館等を利用する時には同じ場を共有する機会を設けている。	
	27	○				
	28	○				
	29	○				
保護者への 説明責任等	30	○				
	31	○			その都度チーム内で協議し、必要に応じて併用している専門員の意見を踏まえたうえで保護者へも内容を共有している。	
	32			○	現在父母の会等はない。	保護者会の設置には賛否があり、予定はないが保護者の交流ができる機会を検討している。
	33	○				
	34	○				
	35	○			外部掲載や通信掲載の際は必ず事前に同意を得たうえで対応している。	
	36	○				
	37			○	現在実績として地域住民を招いたことはないが、いつでも見学等受け入れる体制を整えている。	
非常時等の 対応	38	○				
	39	○			月1回消防訓練を実施し、振替休日や長期休業期間には利用者とともにを行う場合もある。	
	40	○			社内で年3回虐待防止研修を実施するとともに、外部機関による虐待防止研修にも参加している。	
	41	○				
	42	○				
	43		○		事故の際はインシデント報告書が法人内で共有されており、原因分析・再発防止に努めている。	